

東電福島原発・貯水槽の遮水工破損！

鹿児島県・産廃処分場は大丈夫か？

① 今、鹿児島県が薩摩川内市川永野地区で廃棄物処分場を建設中である。汚染水が漏れないかと多くの住民が心配している。それは当然のことで、東電福島原発では5つの貯水槽のうち3つで汚染水漏れが発生しているから、心配するのが正常な考えである。東電の貯水槽では水を貯水するだけだが、川永野地区では産業廃棄物の雑多な固形物を100万トン以上も投棄する。建設地の冠嶽山系阿茂瀬川の上流域一帯は、市民の飲料水を涵養する大切な水源地である。

② 写真で見るように、採石場跡地の窪地に危険な産廃を埋立てる事業が進行している。処分場が完成し稼働すると遮水シート破損で、阿茂瀬川下流域では飲



写真① この池に産廃処分場？

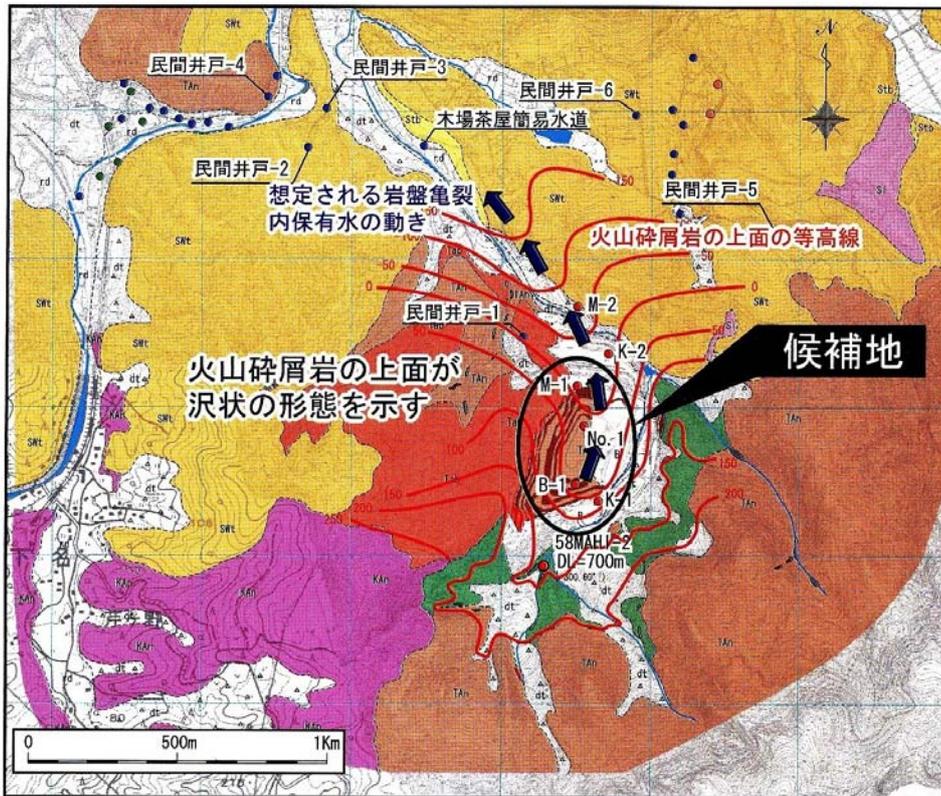


写真② 岩盤亀裂から湧水が多い

料水、農業用水が汚染されることが必至である。次ページの鹿児島県が調査し作成した図①を見ると地下水が下流域に流下していることを示している。

県は遮水シートを2枚敷設するから水漏れは無いと強弁するが、それなら、なぜ福島原発の貯水槽（遮水シートは2枚）で漏水が発生したのか。福島原発より過酷で質の悪い廃棄物を、何倍も多く処分する産廃物最終処分場である。

鹿児島県は市民の水・環境を守れ！



図① 矢印が処分場からの地下水 鹿児島県説明資料から

③ 福島原発の遮水シートと同じ物を鹿児島県処分場でも使用する。遮水シートは極めて薄く 1.5mm、それを 2 枚敷設する。しかし、汚染水や廃棄物の荷重が 100 万 t を超えるような大量な物を支えることができるのか。阿茂瀬川上流の水源地に造成されると、今後、下流域一帯の水道水源や農業用水を利用している市民は**水問題**で不安な生活を余儀なくされることになる。

(写真③, ④はNHKTV クローズアップ現代より)



写真③ 福島原発貯水槽の遮水工



写真④ 専門家はシート破損と言う